
ある男子高校生達のくっだらない日常

迅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある男子高校生達のくっだらな日常

【Nコード】

N7564Q

【作者名】

迅

【あらすじ】

ある日、電車の中で起こった何気ない会話に喰いついたアホ共（男子高校生）のくっだらな出来事

（前書き）

また、7割事実です。

高校生は基本ヒマです。
ホントにヒマ人です。

始まりは、酷くどうでもいい、くだらない事だった……

P M 8 : 0 0

いつも通りの電車に乗って学校に向かう生徒Z

ガタンゴトン

キーッ

プシュー

H君「あ、おはよう」

Z君「ん……おはよう」

いつもとは違いクラスメートの生徒Hに出会った。

プシュー

ガタン……ゴトン……

Z君・H君「……………」

特に話すこともなく、2人でぼーっと外を眺める。

？さん「ホントに美味しいんだって！目玉焼きにマヨネーズをかけて食べるとー！」

後ろから知らない女性の話し声が聞こえてくる。熱心に横にいる彼氏らしき男性に話している。

彼氏らしき男性「いやー、どっちもニガテなんだよなあ……」

(……右に同じ……)

どうやら興奮しすぎて電車内だという事を忘れているようだ。聞こえうとしなくても聞こえてくるしまう。

？さん「じゃあ、水にマヨネーズを溶かして飲んでみて！かなりイケるからー！」

(うげえ……、ってか何が『じゃあ』なの！？むしろ悪化してんじゃん！！)

彼氏らしき男性「んー、それなら……大丈夫かも……？」

(何でだよ！？)

『次はー。○×駅ー、○×駅いー』

学校の最寄り駅のアナウンスが流れる。

キーッ

プシュー

Z君・H君「……………」

電車を降りてお互いを見る。生徒Hは眉間にシワを寄せて苦い顔をしている。どうやら、彼もさっきの会話を聞いていたようだ。

H君「……酷かったな……」

Z君「…そうだな」

二人はそれだけ言うと改札へ向かった。

改札の前で生徒Gと隣のクラスの生徒Cがいた。

G君「よお……二人して変な顔してどうしたの？」

二人に挨拶をすませて、さっき電車内で聞いた事を教えてやる。

Z君「マヨラーってホントにいたんだねえ、俺にはマヨネーズ単体での摂取は無理だな……」

G君「でも、オレよくやるよ？マヨネーズ、水に溶かして飲むってやつ」

Z君「え？」

C君「オレも、オレも。少しタバスコとか入れると刺激があって美味しいんだよねえ」

Z君「は？…いやマズいだろ、それ！！」

H君「それもいいけど、オレ的には醤油を入れた方が好きなんだなあ」

Z君「いやいやいやいや！！！！」

G君「へえ、醤油か…思いつかなかった。今度ためしてみよう」

Z君「マズいと思ったのは俺だけなの！？」

G君・H君・C君「冗談だ」

Z君「……………」

(コイツら…)

H君「でもまあ、ガチで一番ナイのは目玉焼きにマヨネーズだろ」

Z君「一番がそこ！？」

H君「タマゴにタマゴで出来たものをかける、つうー発想が信じられない！目玉焼きにはソースだろ！！」

G君「はあ？何言ってるの？」

目玉焼きは塩に決まってるだろ！」

C君「そうだよ！

てか、それ以外あり得くない？」

G君「ほらあゝ」(ドヤ顔)

H君「そ、そんな事ないハズだ…きっとそうだ!」

自分に言い聞かせるように呟く生徒H

H君「それならクラス全員に聞いてやる!」

Z君「ねえ、このクソどーでもいい会話の終着点はドコ?」

結果

塩		9名
ソース		6名
醤油		10名
ケチャップ		3名
味ぽん		2名
カルピス		1名
ローション		1名

エピソード

H君「目玉焼きにローションかけるアホはドコの何奴だ!？」

G君「……K君だよ……」

H君「またアイツか!！」

G君「K君の場合あり得そうで怖いな……」

クラス一同「確かに……」

（後書き）

ちなみに、自分は醤油派です。
拘りはないです。

大抵近くにあるんで使ってます。

最近、何故か醤油瓶の中身がツユになってしまってるんで今はツユ派になってます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7564q/>

ある男子高校生達のくっだらな日常

2011年5月20日16時16分発行